

# 平成 20 年度第 8 回丸子地域協議会会議次第

平成 20 年 11 月 19 日(木)午後 1 時 30 分から  
丸子地域自治センター 3 階 第 2 会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 会議事項

( 1 ) 丸子地域公有土地建物の活用について

[ 資料 1 ]

4 調査研究事項

( 1 ) 専門部会・グループ別討議内容の報告・提案

( 2 ) 全体会議

( 3 ) グループ別討議

5 その他

・次回の日程について

6 閉 会

平成 20 年 11 月 日

上田市長 母袋創一 様

丸子地域協議会  
会長 片桐 久

## 答 申 書 (案)

平成 20 年 9 月 12 日付け 20 丸地発第 3 8 8 7 号をもって諮問のありました件について下記のとおり答申します。

### 記

1 件 名 丸子地域公有土地建物の有効活用について

2 答 申

この度諮問のありました件につきましては、何れも丸子地域にとって将来にわたる重要な課題と認識し慎重に審議しました。地域住民の中心市街地に対する思いを受け止め、また市が持続的に発展することを切望し、諮問にそって推進されますよう以下の意見を付して答申します。市当局におかれましては、市民の思いを受け止めていただき、一層の地域振興にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

(1) カネボウ跡地について。

<付帯意見>

- ・ 地元商店街の振興について積極的な支援と配慮を要望する。
- ・ 土地開発公社の保有する土地について積極的に売却、活用を図るよう要望する。
- ・ 旧食堂棟等既存施設については、地域の商工団体等が行う地域の活性化や住民の福祉に資する事業に活用できるよう配慮いただきたい。

(2) 丸子ファーストビルについて。

<付帯意見>

- ・ 情報館については、当初の設置目的が達成したと思われるので、今後のあり方を検討されたい。
- ・ 勤労者福祉センターは、街中心地にあることから、より多くの市民が利用出来るよう名称及び設置目的の見直しを検討されたい。
- ・ 商工会の行う商店街の活性化事業に行政の積極的な支援を要望する。

第2回依田川リバーフロント市民協働事業専門部会(20.11.13開催)討議内容

部会長	成沢(啓)	記録者	村松
出席者	成沢、滝沢、村松 (事務局:佐藤課長沢山係長、中村主査)		
話し合い事項のまとめ	<p>話し合いのポイント 依田川リバーフロント市民協働事業の取組み</p> <p>事務局作成の計画(案)について意見交換を行い、ハード面については行政的に地域予算を活用して着手が見易いが、ソフト的な取組みは容易ではないがこれがポイントであろう。</p> <p>資料の内容 から について専門部会でさらに具体化の検討を行う。スケジュールの目標も明確にして、来年中頃までにキックオフイベント(依田川流域清掃化の発表会等)を開催できる程度の考え方が必要。</p>		
次回取上げる事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・19日の協議会全体会議に現状報告をする。</li> <li>・協議会の後、専門部会を開いて引続き検討を深める。</li> </ul>		
事務局に資料を求める事項	-		

地域づくり方針「自然環境の保全と人々が共生できる地域づくり」

## 依田川リバーフロント市民協働事業計画(案)

目的 依田川・内村川の合流域への親水公園作りを一つ的手段として、自然との共生の地域ネットワーク作りを行う。

キーワード ・地域は川で繋がっている。地域の財産。  
・個性ある依田川、内村川。地域の個性との繋がり。

内容 実行組織の立上げ。

- ・対象：地域住民(公募) 上小漁業協同組合、河川愛護団体、流域自治会、地元企業、学校関係、爆水ラン実行委員会、依田川ウォーキング愛好者、カヌー愛好者、ボランティア団体、地域協議会委員ほか

川に関する勉強会・学習会等の開催。

- ・内容：依田川の現状や成り立ちの学習、活動の報告会など。

意見交換

- ・目的・理念の明確化。依田川リバーフロントのイメージづくり。

マスタープランの作成。

- ・想定事業 [河川整備] 外来種駆除(アレチウリ、アカシア、ブタクサ等) 草刈り等による水辺環境の保全。= 地域連携

[イベント] 依田川周辺を利用したイベントの開催又は協力。  
= 地域内外からの集客

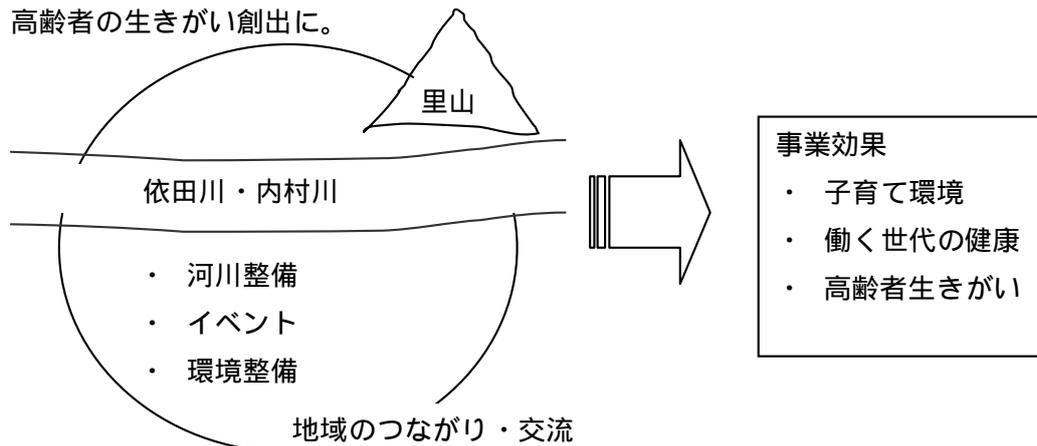
[環境整備] 子どもから大人、高齢者まで自然に集まる場所の整備。  
= 健康とふれあい、憩い場の提供

- ・一つの活動を通じて、楽しく繋がり、縁が生まれる。
- ・いろんな人と、手伝い手伝われながら繋がっていけば良い。  
地域への情報発信。その手法

スケジュール 組織立上げ...今年度中

キックオフイベント...来年度中ごろまでに

- 波及効果
- ・地域ぐるみで子育てができる環境に。
  - ・働く世代の健康と癒し空間に。
  - ・高齢者の生きがい創出に。



## 平成20年度 丸子地域協議会「グループ討議」内容

会議日	話し合い事項 ( 取組むべきテーマ等の検討)
5月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域協議会で住民の声を反映させるべく討議を深めたい。</li> <li>・ 下水道の引き込み。住民全員の使用ではないので、せっかく水をきれいにしようと思っっているのに、水がきれいにならないとホテルの生息にも良くない。</li> <li>・ 地域力のすごさ、自治会によっては違いがある。</li> <li>・ 地域のお年寄りを守るため、コミュニケーションをはかること。</li> <li>・ 地域協議会をどのようにしたいか、地域でどのような事をしていったら良いのか。</li> <li>・ 地域予算について。</li> <li>・ 持寄分基金の内容の確認、地域の課題等への持寄分基金の活用案の検討の必要性。</li> <li>・ 地域まちづくり方針(7項目)の進め方に関する意見交換</li> <li>・ 活動の内容及びプライオリティー(優先順)によって、いくつかのグループを設け、早期に実践的な活動を開始することが望ましい。</li> <li>・ 地域まちづくり方針7項目の内容の確認、復習討議</li> </ul>
7月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通を含む教育環境、他の地域組織との関係を含め地域協議会の位置付け、役割の明確化のための取組み。地域力を高めるため、地域協議会の役割として自治会、議会との連携や協力体制をどう築いていくか早急に検討していただきたい。</li> <li>・ 現状のグループ分けは暫定的なもので、テーマを設定した上で、分科会的なグループ分けして討論を深めたい。例えば、子育て、人材育成とか。</li> </ul>
8月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ わがまち魅力アップ応援事業等で採択された事業を住民に周知し、大いに活用を図る。</li> <li>・ 人々が楽しく共生できる地域づくり、子ども達お年寄りが自然に交流できような拠点づくりが必要。</li> <li>・ 丸子ドドンコ町民祭は多額の費用がかかる。補助金等での不足金については基金から支出したらいいかが。増額されたい。</li> <li>・ 折角の協議会だから、行政側にこうしなさいと言えるような強い力をつけていかなければならない。</li> <li>・ 協議会の中でも色々の意見があったが、最初から依田川リバーフロントありきの感があった…従って他の計画案が提案ができないか。</li> </ul>
9月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 陣場地域の下あたり自転車愛好家が下見に来た。建物でなく人を集めることを考える。</li> <li>・ 博物館内装設備(トイレ等も含む)の検討について</li> <li>・ 防犯灯の電気代補助について、住民の安全・安心を守るためには必要である。区により補助金の額が異なるので、公平に1灯いくらとしてほしい。</li> <li>・ ドドンコの交付金・補助金も不公平感が強い。</li> <li>・ 消防施設を区へ移管する件について</li> <li>・ 学区・公民館区エリアの交流</li> </ul>

依田川リバーフロント市民協働事業、カネボウ跡地・ファーストビル関係を除きました。